

中野区における都市観光推進に向けた取り組みについて

区は、中野駅周辺の東京の新たな活動拠点としての形成に向け、ハードとソフトが一体となったまち活性化戦略を進めてきており、今後予定される業務・商業ビルのオープンや、大学進出等により、滞在人口や来街者の大幅な増加を見込んでいる。

また、近年、国が観光立国へ向けた取り組みを全国的に展開していることや「まち歩き観光」といったいわゆる都市観光が注目を集めていることなど、観光を巡る環境も変化してきている。

区は、こうした観光を巡る諸状況の変化を好機として、以下により観光推進に関する取り組みを進めることとしたので報告する。

1 (仮称) 中野区都市観光ビジョンの策定

区は、中野の持つ文化・商業・娯楽・飲食・サービスといった多様な都市機能の魅力を来街者が気軽に楽しむ観光形態を「都市観光」(以下、単に「観光」という。)と捉え、今後、観光推進に係る区としての考え方を(仮称)中野区都市観光ビジョン(以下、単に「ビジョン」という。)としてとりまとめることとする。

2 ビジョンの策定目的

区は、ビジョンの策定により観光推進に係る取り組みの指針を示すとともに、区民、事業者、地域等と連携・協働し、適切な観光推進を目指す。

特に、現在の J R 中野駅の 1 日当たりの乗降客数は、約 22 万人であり、今後さらなる増加が見込まれている現況下、観光への取り組みを積極的かつ効果的に進め、来街者等による回遊や消費を促し、地域経済活性化や来街者と区民等人々の交流の促進等を図ることとする。

3 ビジョンの構成案

- (1) ビジョン策定の背景・目的
- (2) 観光施策に取り組む意義と効果
- (3) 観光施策推進体制の整備
- (4) 中野区における観光の現状と課題
- (5) 目指す将来像
- (6) 将来像実現へ向けた取り組み

4 今後の予定

5 月 都市観光推進の考え方策定

7 月 (仮称) 中野区都市観光ビジョン策定